

石橋議員（自民議連）

令和2年6月24日  
教育長答弁実録  
（教育委員会）

（問）平成10年の文部省是正指導の認識について

平成10年の文部省是正指導当時、本県教育において何が問題であり、何を解決せねばならなかったと考えているか、教育長の所見を伺う。また、是正指導から20年以上経過し、当時のことを知らない教職員も多くなっていると思うが、過去の教訓を風化させないために、どのような取組を実施していくのか、併せて、教育長の所見を伺う。

（答）

平成10年当時の本県教育は、県教育委員会が、当面する課題の円滑な対応を優先するあまり、職員団体等との話し合いや交渉に応じる中で、幾多の妥協を余儀なくされ、教育内容面と管理運営面において、法令等を逸脱し、教育の中立性が侵されるなどの課題があったものと理解しております。

こうした課題を解決するため、是正指導以降におきましては、教育の中立性と公開性を柱に、校長権限の確立や組織的な学校運営などに取り組み、県民から信頼される公教育の確立に向け、是正の確実な定着を図るとともに、教育の中身づくりを進めてきたところでございます。

教育委員会といたしましては、各種研修に是正指導の経緯や内容を取り入れ、法規・法令等の遵守を徹底するなどの取組を一層充実させ、県民に信頼される公教育の確立に取り組むとともに、「学びの変革」をはじめ、様々な施策を着実に推進し、広島で学んで良かったと思える日本一の教育県を実現してまいります。